

黒石学区納涼夏祭り



【黒石学区】

■世帯数：1,939 世帯

■人 口：4,951 人

■面 積：0.586 k m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・西友鳴海店第一駐車場において、地域の絆を結ぶ場として納涼夏祭りを開催している。2日間の延べ参加者数は約 4,000 人。
- ・盆踊り、和太鼓演奏のほか、地元の子ども会、学童保育クラブ、スポーツクラブ等の各種団体が、焼きそばや綿菓子といった飲食物やゲーム遊び、バザーなどのブースを出展する。

【住民へのPR方法】

チラシの各戸配布、掲示板への掲示、「黒石だより」でのPR

【アピールポイント】

盆踊り、和太鼓、夜店などの行事本体だけでなく、準備、設営、撤去作業などを全て実行委員会である連絡協議会を中心に、いわば住民手づくりで行っている。開催場所がわかりやすく、来やすいため、学区住民はもとより、近隣学区の住民も来場し、参加者数が多い。20年以上にわたって継続的に開催されているので、住民の間に定着し、学区の恒例行事となっている。

2 きっかけ、背景

20年以上前から、学区住民間や世代間のふれあい、交流を促進するため、毎年夏に開催している。当日の運営だけでなく、準備や後片付けなど、全て住民の手づくりによる学区の恒例行事となっており、住民の参加が多く、住民の連帯感、「絆」を深めることに大きく貢献している。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

学区連絡協議会会長、副会長、会計、区政協力委員（町内会長）、民生児童委員会会長、保健委員会会長など、全ての学区連絡協議会構成員計35人

(2) 他団体との協力

老人会、子ども会、PTA、学童保育など、ほとんどの学区連絡協議会編成団体、女性会、走友会、ソフトボール連盟等のスポーツクラブ、和太鼓グループなど

(3) 運営協力

準備作業は、できるだけ若い人に協力してもらうよう町内会長にお願いしている。

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- 参加者の増加、住民意識の高まり、住民間の交流の深まり。

(2) 苦労した点

- 会場使用についての交渉。

(3) 後の課題・展望

- 活動の継続、担い手の世代交代、開催場所の確保が課題。
- 盆踊りの参加者を増やすとともに、おみこしなど、出し物を多様化していきたい。

(4) メッセージ・アドバイス

- 「核になる人」を中心に、できるだけ多くの住民による企画、参加が望ましい。
- 実施後、反省会を行い、問題点を検討して来年に備える。
- 神社、寺などの古くからの伝統行事があれば、それらを含めて企画することで、一層意義深い行事になると考える。

4 実施のスケジュール

